

特別企画：四国地区 紙・不織布製品メーカー主要 20 社 業績動向調査（2020 年度）

2020 年度の業績 売上高合計は過去 5 年で最高 ～利益額合計は 4 年ぶりに増加～

はじめに

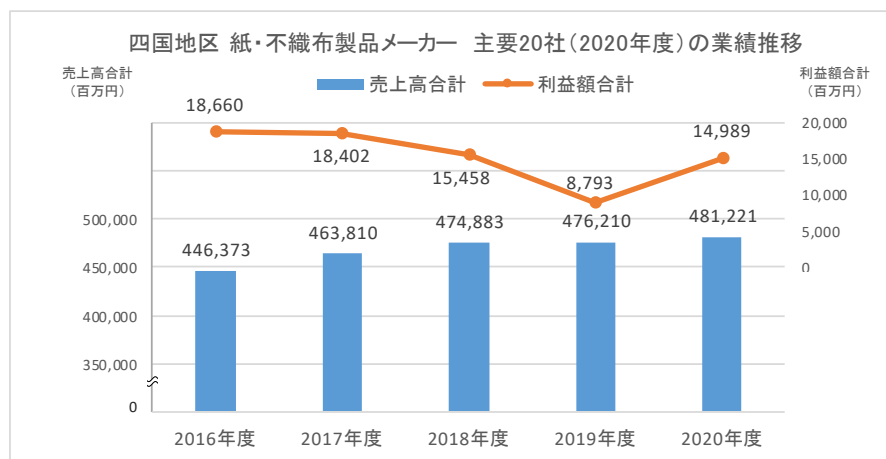
製紙業界は装置産業であるため、設備投資のための借入金が多く、需要が減少すると過剰設備を抱えるリスクがある。また、紙という性質上、製品の差別化が難しく、同業者間の競争が激化している。そうしたなか、近年は電子媒体の利用拡大やペーパーレス化による印刷物の減少などで、印刷や情報用紙の需要が減少傾向にある一方、ネット通販の拡大により段ボールの需要が増加している。

今回、帝国データバンク高松支店は、紙・不織布製品メーカーの業績動向を探るため、2021 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2016 年度（2016 年 4 月期～2017 年 3 月期）から 2020 年度（2020 年 4 月期～2021 年 3 月期）まで 5 年間の決算の売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在する紙・不織布製品メーカー主要 20 社を抽出し、売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

※分析対象は TDB 産業分類・中分類で「パルプ・紙・紙加工品製造業」を主業とする企業

調査結果（要旨）

1. 2020 年度の売上高合計は 4,812 億 2,100 万円
前年度と比べて 50 億 1,100 万円（1.1%）多く、過去 5 年で最高に
2. 2020 年度の利益額合計は 149 億 8,900 万円
前年度と比べて 61 億 9,600 万円（70.5%）多く、4 年ぶりに増加



1. 売上高合計推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在する紙・不織布製品メーカー主要 20 社について、2016 年度～2020 年度決算の売上高合計をみると、2020 年度は 4,812 億 2,100 万円となり、前年度と比べて 50 億 1,100 万円（1.1%）多く、過去 5 年で最高となった。

売上高トップはユニ・チャームプロダクツ（株）（香川県）の 1,731 億 9,100 万円で、唯一 1,000 億円以上となっている。次いで、エリエールプロダクト（株）（愛媛県、499 億 5,500 万円）、丸住製紙（株）（愛媛県、494 億 4,500 万円）が続いた。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度から 2 社減の 10 社、減収は 10 社であった。2020 年度の売上高の伸び率トップは、ウェットティッシュやトイレクリナーなどの製造を行っている昭和紙工（株）（香川県、24.1%増）で、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内需要の高まりを受注増に繋げた。次いで、アルカリ電解水や重曹電解水を使用したウェットクリーナーなどの製造を行っている服部製紙（株）（愛媛県、15.6%増）、世界的にも高いシェアを誇るアルミ電解コンデンサ用や導電性高分子固体コンデンサ用のセパレータなどの製造を行っているニッポン高度紙工業（株）（高知県、14.2%増）が続いた。

年度	売上高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2016年度	446,373	1.7	11	9
2017年度	463,810	3.9	13	7
2018年度	474,883	2.4	12	8
2019年度	476,210	0.3	12	8
2020年度	481,221	1.1	10	10

2. 利益額合計推移、4 年ぶりに増加

2016 年度～2020 年度決算の利益額合計（当期純利益）をみると、2020 年度は 149 億 8,900 万円となり、前年度と比べて 61 億 9,600 万円（70.5%）多く、4 年ぶりに増加した。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 1 社多い 11 社となり、減益は 9 社に減少した。特別減価償却費の計上などで減益となった企業がみられたものの、増収効果やコロナ禍でのコスト削減策により増益となった企業がみられた。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2016年度	18,660	23.9	12	8
2017年度	18,402	▲ 1.4	7	13
2018年度	15,458	▲ 16.0	9	11
2019年度	8,793	▲ 43.1	10	10
2020年度	14,989	70.5	11	9

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社が所在する紙・不織布製品メーカー主要 20 社における 2020 年度の売上高合計は、過去 5 年で最高となったことが判明した。コロナ禍で各種イベントの中止や延期によるパンフレット並びにチラシのほか、ペーパーレス化によるオフィス向けの印刷・情報用紙需要が減少したものの、ネット通販の拡大による段ボール需要の増加に加え、マスクやウェットティッシュなど不織布製品への需要の高まりもあり、全体の売上高を押し上げた。

2021 年度に入っては、感染予防対策としての不織布製品に対する需要が引き続き堅調であることや、ワクチン接種案内や新規感染者の減少で行動制限が解除されたことによるイベント関連需要の回復がみられている。ただ、ここにきてオミクロン株にみられる変異型コロナウイルスの感染拡大で再び一部都市での行動制限が実施されたことで、イベント関連需要が消失するケースが発生することや、デジタル庁の発足によるペーパーレス化の更なる推進で紙の需要減が予想される。加えて、原燃料高の上昇による収益面への圧迫も懸念されるため、今後の動向を見守りたい。

<参考>

四国地区 紙・不織布製品メーカー 主要20社 2020年度売上高ランキング (単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2020年度)	前年度比 増減	前年度比 増減率(%)
1	ユニ・チャームプロダクツ 株式会社	香川県	173,191	↑	4.4
2	エリエールプロダクト 株式会社	愛媛県	49,955	↑	10.0
3	丸住製紙 株式会社	愛媛県	49,445	↓	▲ 16.9
4	株式会社 リブドウコーポレーション	愛媛県	48,835	↑	0.3
5	ユニ・チャーム国光ノンウーヴン 株式会社	香川県	21,758	↑	6.7
6	明星産商 株式会社	高知県	15,758	↑	7.3
7	ニッポン高度紙工業 株式会社	高知県	14,607	↑	14.2
8	大塚包装工業 株式会社	徳島県	13,775	↓	▲ 9.4
9	新タック化成 株式会社	香川県	12,500	↑	4.2
10	昭和紙工 株式会社	香川県	12,214	↑	24.1
11	阿波製紙 株式会社	徳島県	9,761	↓	▲ 17.2
12	株式会社 トーヨ	愛媛県	9,637	↑	14.0
13	株式会社 丸和	愛媛県	9,137	↓	▲ 5.2
14	株式会社 カナエテクノス	香川県	8,161	↓	▲ 5.8
15	三木特種製紙 株式会社	愛媛県	6,899	↓	▲ 0.5
16	株式会社 朝日段ボール	香川県	6,018	↓	▲ 6.6
17	エヌ・アンド・イー 株式会社	徳島県	5,277	↓	▲ 8.0
18	愛媛小林製薬 株式会社	愛媛県	4,882	↓	▲ 5.3
19	服部製紙 株式会社	愛媛県	4,707	↑	15.6
20	ダイオーミルサポート 株式会社	愛媛県	4,704	↓	▲ 4.2

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、道田 祐一

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。